



自衛隊新潟地方協力本部

第100回謙信公祭記念公演 陸上自衛隊第12音楽隊コンサート



新潟地本（本部長 1陸佐 村岡史朗）は7月19日（土）、上越文化会館にて（謙信公祭協賛会・上越市主催）行われた第12音楽隊（隊長 1陸尉 富田淳子）による音楽演奏会を支援した。

謙信公祭とは、戦国時代の名将・上杉謙信公の武勇と遺徳を偲んで、昭和戦前期から戦中、戦後と激動の時代において一度も中断されることなく、上越の人々の手によって毎年開催されてきた祭りで、今回は記念すべき第100回目となった。

当日は演奏会を楽しみに待ちわびた大勢の来場者が早くからロビーに列を作った。季節柄熱中症による安全面を考慮し、当初予定していた13時の開場時間を前倒しして入場が行われた。

演奏会は謙信公祭記念公演にちなみ、上杉謙信から受けた「五常の徳」の教えを胸に、上杉家のために生涯を捧げた直江兼続を描いたNHK大河ドラマ「天地人」の壮大なテーマ曲で幕を開けた。第1部は、吹奏楽の豊かな音の響きをたっぴりと感じられる曲を中心に、第2部はテレビなどで聞き馴染みのある親しみやすい曲を中心に演奏され、楽器のソロや男性ボーカルの歌唱など趣向を凝らしたプログラムであった。中でも注目を集めたのが、「ルパン三世のテーマ」で赤いジャケットを羽織りルパン三世になりきった田村1陸士のビブラフォンソロである。第12音楽隊の演奏会に観客として来場したことがきっかけで、音楽隊を目指し見事合格、同隊に配属されたという幸運の持ち主で、彼の奏でるリズムカルかつ独特な美しい響きは来場者を魅了した。

来場者は「とても楽しかったです。もっともっと聴いていたかったです。」「また上越に演奏に来てください。」「と高揚した様子で感想を語った。

新潟地本は「今後も地域と連携した音楽演奏会を行い、自衛隊に対する理解を深めていきたい。」「としている。

